

編集の序

近年の厚生労働省による日本国民の生活調査によれば、腰痛や頸部痛、肩こりなどの脊椎由来の愁訴は内科的なものも含めた愁訴の中でも、最も頻度が高い。また、整形外科外来を受診する患者に占める脊椎・脊髄疾患患者の割合も高い。腰痛や背部痛の原因は整形外科的なものだけでなく、内科、婦人科、外科などの他科疾患でも認められるため、その原因疾患についての知識はすべての医師にとって不可欠である。脊椎・脊髄疾患は加齢性疾患、腫瘍、外傷、炎症性疾患、代謝性疾患など多岐にわたるうえ、後頭頸椎移行部から仙尾椎まで広い範囲に発生する可能性があるため、整形外科専門医を目指す医師の方々が学ぶべき範囲は膨大である。

本書では多岐にわたる脊椎・脊髄疾患のなかから「整形外科卒後研修ガイドライン」に沿って、日常診療する機会が多く、専門医として必ず知識を身につけておくべき疾患をとりあげ、臨床の最前線で活躍している指導医の方々に、病態、診断、治療などについて基礎的なエッセンスを記していただいたのみならず、臨床にすぐに役立つ診断・治療上のポイントも含めた応用的なことも含めて解説していただいた。

本書は通読していただいてもよいし、診療時にポケットブックとして利用していただいてもよい。本書が読者の脊椎・脊髄疾患の診断・治療の手助けになるよう祈ってやまない。

2008年3月

千葉一裕
松本守雄